

現代俳句協会副会長 倉橋羊村 選

◎鎮魂の山を揺らして大花火
門々に昭和の風と茄子の馬
難聴の耳にも届け蟬の声
高原の風といへども終天下
胸にたくセピアの写真夏帽子
新薬に命あづけて梅雨明くる
着るものに構ひてをれぬ暑さかな
寺裏はリスの領域古都の秋
浅野ゆき乃

圓主宰 石河義介 選

◎稲光高層ビルの立ち上る
冷蔵庫ことりと声上げ氷生む
難聴の耳にも届け蟬の声
新薬に命あづけて梅雨明くる
逢へぬまま日焼も褪めてしまひけり 武田眞実
檐ヶ岳映す池あり夏の雲
指間から棄こぼる大暑かな
武田眞実
岩野ヤエ子

あかざ主宰 飯村寿美子 選

◎柔らかな拒絶四葩に雨の打つ
雷鳴や眠りこけたる児の笑顔
難聴の耳にも届け蟬の声
屋上のトマト熱せる驟雨かな
太き樹を切るを見守る夏の夕
新薬に命あづけて梅雨明くる
大木を動かしてをり蟬時雨
夕焼や長居を詫びて帰りけり
瀨戸 溪水

古志 小寺敬子 選

お花畠小道の先にヒュッテあり
門々に昭和の風と茄子の馬
魂の抜かれてゐたる昼寝覚む
高原の風といへども終天下
鎮魂の山を揺らして大花火
新薬に命あづけて梅雨明くる
平井 与史
増田 守
浅野ゆき乃
小川名梅乃
安沢 文枝
岩野ヤエ子

響焰 北登 選

◎一ト夏の過ぎ行く気配遠花火
一病もしばし忘れて遠花火
散る花火空の涙となりけり
老舗には老舗の器葛の花
門々に昭和の風と茄子の馬
人知れず蓄もちて百日紅
指間から棄こぼる大暑かな
寺裏はリスの領域古都の秋
浅野ゆき乃

末黒野主宰 小川玉泉 選

◎天上の扉を開けて大花火
一病もしばし忘れて遠花火
散る花火空の涙となりけり
早朝に子の声響く夏休み
新薬に命あづけて梅雨明くる
着るものに構ひてをれぬ暑さかな
大木を動かしてをり蟬時雨
野上 貞勝

頂点 鶴巻 ちしろ 選

◎指間から棄こぼる大暑かな
一病もしばし忘れて遠花火
難聴の耳にも届け蟬の声
一ト夏の過ぎ行く気配遠花火
逢へぬまま日焼も褪めてしまひけり 武田眞実
大木を動かしてをり蟬時雨
野上 貞勝
夕焼や長居を詫びて帰りけり
瀨戸 溪水

圓 柳原順子 選

◎雷鳴や眠りこけたる児の笑顔
魂の抜かれてゐたる昼寝覚む
一ト夏の過ぎ行く気配遠花火
逢へぬまま日焼も褪めてしまひけり 武田眞実
着るものに構ひてをれぬ暑さかな
瀨戸 溪水
夕焼や長居を詫びて帰りけり
瀨戸 溪水
稲光高層ビルの立ち上る
野上 貞勝